

令和3年度地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 松戸市 (都道府県: 千葉県)

本事業の担当部局名 子ども部子どもわかもの課

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	機運醸成の取組		
関連事業メニュー	2.2.4 主に若い世代が乳幼児と触れ合う体験を通じて、子育てなどに対する理解を深めるための取組		
個別事業名	中高生と乳幼児のふれあい体験	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日		
対象経費支出予定額 ※(注)1	999,000 円		
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	松戸市子ども総合計画に基づき結婚、妊娠、出産から住宅取得の支援など市民のライフステージに応じた切れ目のない支援を行っています。本事業は思春期の中高生を対象として、子どもとその親と直接ふれあう体験を行うことにより、子育ての楽しさや大変さを聞いたうえで、子どもや家庭を持つことについて考えるきっかけづくりと将来的な虐待予防を狙いとして地域の少子化対策に資する事業です。		
(個別事業の内容) ※(注)3	<p><ふれあい体験の概要・特徴> 松戸市内の中学校や高校と連携し、生後1才半までの乳児の親子が主に学校に訪問し、中高生とふれあう体験を行う。主な体験内容としては、赤ちゃんとのふれあいの他、母親(父親)から妊娠中の様子について、母子手帳やエコー写真をみながら話を聞いたり、子どもの様子や子育ての楽しさや大変さを聞いたりする。体験は特別教室などに1グループ約7~8名の生徒に3~4組の親子が入り、コーディネーターとして市内の子育て支援拠点(おやこDE広場、子育て支援センター)の専門スタッフが入り双方に充実した体験ができるようなサポートをしている。</p> <p><現状と課題> ○実施を希望する中学・高校が増加しているが、体験が一過性のイベントにならないようにサポートする人材が不足している。実際に体験に参加する生徒の中には、さまざまな家庭環境・生育環境の生徒がおり、幸せそうな親子の様子を見て感情が高ぶったり、自分の気持ちが整理できずに悩んでしまう場合がある。また、学校側も体験だけで終わらせてしまい、学校が担うべき事前学習や市が実施する助産師による講演会の必要性が理解されずに、総合的な体験としては不十分な取り組みになっている学校もある。地域子育ての支援者である地域子育て支援拠点のスタッフや地域の保健師が思春期に必要なふれあい体験の目的、必要性について具体的に学ぶ機会を創出するとともに、実施する学校と市が本事業の目的と効果について学ぶ機会とすることにより、生徒たちが、より安心して体験に参加できる環境づくりを充実する。</p> <p><課題への対応> ○前記の課題に対応するため、令和3年度は支援スタッフを含めた地域の子育て支援の関係者及び学校関係者に向けた「ふれあい体験の効果」についての研修会を開催する。また、生徒向けの体験後の講演会の内容を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者向けの主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 生命の大切さ、家庭の役割等についての理解と思春期の課題 自己肯定感、体と心の課題等 ・生徒向け講演会(令和3年度の改善点) <ul style="list-style-type: none"> 出産や子育てを中心とした内容から、生徒たちに身近な思春期の心と体についての理解、一般的な子どもの理解だけでなく「育てられきた自分」を振り返りこれから「育てる自分」に対する想像することを、ネガティブな経験も含めて生徒のありのままの気持ちを受け止められる内容とする。 <p><令和3年度実施予定> ○ふれあい体験(予算) 【委託料】 ふれあい体験の親子と生徒のコーディネーター(サポート)スタッフ人件費 743千円 ふれあい体験事前スタッフ打ち合わせ報償 113千円 (1,500*50人*1.5時間) ふれあい体験スタッフ報償 630千円 (1,500*8人*3時間*11回) (1,500*8人*6.5時間*3回)</p>		

個別事業の内容

【消耗品費】

ふれあい体験実施に伴う消耗品費 チラシ用紙代、おもちゃ購入費など 117千円

【手数料】

クリーニング代(エプロン等) 11千円

【謝金】

生徒向け ふれあい体験開催後の助産師による生徒向け講演 妊娠・出産・子育てに関する など
 講師謝礼 開催 高校及び支援者向け研修会(計4回) × 30,000円 講師交通費 4回 × 2,000円 計128千円

【実施予定校数・参加人数】

6校 800人

○支援者向け研修会

【実施予定回数・参加人数】

1回 60人

○生徒向け講演会(学校授業での事前学習)

【実施予定回数・参加人数】

4回 800人

<学校の授業と子どもわかもの課の事業との役割分担について>

○松戸市子どもわかもの課

- ・ふれあい体験当日の運営(企画と実施、親子の募集、スタッフ派遣)
- ・事後学習としての助産師による講演会の実施

○学校

- ・家庭科等の授業として事前学習の実施 ※その他 体験当日の会場の提供、体験後の講演会の会場提供等

<実績> (令和元年度)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を全面中止とした。

参考

令和元年度実績

ふれあい体験 実施校名	参加親子(組)	参加生徒(人)	クラス(数)	講演会実施状況・参加生徒数	備考
県立松戸向陽高校	125	265	7	講演会あり(1回) 266名	
県立松戸六実高校	16	21	1	講演会なし	選択クラスのみ
市立松戸高校	127	361	9	講演会あり(1回) 361名	
県立松戸南高校	50	106	3	講演会あり(1回) 106名	
根木内中学校	44	100	3	講演会なし	
旭町中学校	45	73	3	講演会なし	
合計	407	926	26	講演会実施校数3校・3回 733名	

	実施日	参加支援者数
支援者研修会	R1.11.11	45人

